

1. 件名：学協会規格の技術評価に係る原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年12月9日（金） 14：00～15：30

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ

技術基盤課

システム安全研究部門

原子力規制部

実用炉審査部門

佐々木企画調整官、篠田係長、藤澤技術  
参与

北條主任技術研究調査官、船田技術参与

塚部上席安全審査官

原子力エネルギー協議会（ATENA）

関西電力株式会社 原子力事業本部

保全計画グループ

中国電力株式会社 電源事業本部

部長、他5名

マネージャー、他1名

課長、他1名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

○原子力エネルギー協議会より、日本電気協会から発刊される予定の「原子炉構造材の監視試験方法」（JEAC4201）等の規格について、2024年度までに原子力規制委員会による技術評価の実施を希望する旨、配付資料に基づき、説明があった。

○規制庁より、2024年度までの技術評価の計画は、既に原子力規制委員会の了承を受けているため、早期の技術評価の実施を希望するのであれば、必要性を整理して説明するよう申し伝えた。

6. 配付資料：

○資料 技術評価を希望する学協会規格

以上